

2 人と犬や猫の関係はお互いに心地よく、利益を与え合うもの



一方近年、日本では犬の数が毎年大幅に減少しており、人々がどうぶつ達と接する機会も年々減ってきているように見えます。しかし、長い歴史の中で人類は犬や猫を中心としたどうぶつ達と共に生きてきました。これは、それがお互いにとって心地よく、また利益を与え合う関係であるからに違いありません。

現状のままでは、日本においてどうぶつ達と共に暮らす幸せな社会は育まれるどころか、逆に廃れていくものと危惧されます。この現状を憂慮して、「どうぶつ達と共に暮らす幸せな社会をつくる」ことを理念とした本会を設立いたしました。

日本ペットサミットDATA

英名 Japan Pet Summit (略称; J-PETS)

会長 西村亮平 (東京大学教授 獣医外科学教室)

理念 どうぶつ達と共に暮らす幸せな社会をつくる
For the harmonious society with animals

スローガン 寛容と“いい加減”

事業 理念を達するために、次の事業を行う。

- ・シンポジウム、セミナー等の開催
- ・ポータルサイト、ソーシャルネットワークを活用して理念の達成に有用な情報の収集、解析とその積極的な発信



入会方法

本会にご関心がある方はどなたでも入会できます。入会をご希望の方は、氏名・ご住所を明記の上、下記までメールでお申し込みください。専用郵便振替用紙と会員申込書を郵送いたします。

年会費 5,000円

お問い合わせ先

日本ペットサミット事務局代行

株式会社インターズー

担当: 佐久間明美

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 7F

E-mail: sakuma@interzoo.co.jp

TEL: 03-6427-4575 FAX: 03-6427-4577

日本ペットサミット入会案内

どうぶつ達との暮らしを一緒に考えませんか



J-PETS

<http://www.j-pets.jp/>

<https://www.facebook.com/japanpetsummit/>

1 どうぶつ達との社会的な結びつきが希薄な日本



2015年3月、東京大学に忠犬ハチ公とその飼い主である上野英三郎博士の銅像が建てられ、その除幕式には多くの人々が詰めかけました。ハチは上野博士が急逝された後、何年間も駅に迎えに通ったことから、多くの人々の共感を呼びました。

しかし、日本における犬、猫をはじめとするどうぶつ達の“地位”は決して高くありません。欧米諸国では街中の様々な場所で犬をよく見かけますが、日本ではそのような場面に遭遇することはまずありません。盲導犬をはじめとする補助犬ですら、いまだに入店、入場が断られるケースが後を絶たないと聞きます。すなわち、人々との個人的な結びつきという視点では、日本においてもどうぶつ達は大切にされていますが、社会との結びつきという視点では希薄な存在として捉えられていると考えられます。

3 人とどうぶつ達の幸せな社会をつくるためのイノベーションを起こす

本会は、理念実現のために、同じ考えの下で活動する企業・団体・個人と、東京大学という場を活用して、アカデミックな情報を社会に向けて発信すると共に、相互理解を深めていきます。さらに、相互のコラボレーションによって、人とどうぶつ達の幸せな社会をつくるためのイノベーションを起こすことを目指します。

具体的には、以下の5つのテーマについて、どうぶつ関係団体にとどまらず多種多様な専門家、第一人者を招いたシンポジウムなどを通して建設的な討議を行い、さらにその内容をポータルサイトやソーシャルネットワークで社会に発信してまいります。



日本ペットサミットの5つのテーマ

5 ペットと暮らす楽しさ

ペットと暮らす楽しさを伝えると共に、日本の事情に合った暮らし方を提案



1 子どもとペット

子どもがペットと暮らす効用の発信と安心して暮らすための啓発。活動団体への支援

2 高齢者とペット

高齢者がペットと暮らす効用の発信と安心して暮らすための啓発。活動団体への支援



4 見捨てられたペットの保護

捨てられたペットや飼い主がいなくなったペットのための保護・譲渡活動団体への支援



3 働くどうぶつ

(主に警察犬、災害救助犬、補助犬、障がい者乗馬のウマ)

働くどうぶつ達の社会貢献のアピールと活動団体への支援